

(仮称) 亀岡市協働基金の創設に向けての検討事項

目的

「市民の主体的な活動が継続し、行政の制度のみに頼ることなく発展するための新しい仕組みづくりや方策を導入する。」

「市民活動への寄附を受け入れる基金の創設と運用」

【ねらい】

- ◇ 市民の活動を市民が支援する仕組みの整備
- ◇ 市民団体の経営マネジメント力の向上

〈検討項目 1〉 どういった事業を支援する制度とするのか。

- ◇ 既存の補助金・助成金との区別をどう整えるのか。
例) 亀岡市支えあいまちづくり協働支援金、京都府地域力再生プロジェクト交付金、京都新聞社会福祉事業団助成金、オムロン基金助成金。
- ◇ 事業支援によって、支援先にどのような展開を期待するのか。

〈検討項目 2〉 設置・運用者をどうするのか。

- ◇ 基金の設置申請及び助成時の運用者をどうするのか。
例) 城陽市では、中間支援団体→中間支援団体・京都府・城陽市の協議体に移行。
- ◇ 協議体を組織するとした場合は、どういった機関に入ってもらいたいのか。また、それぞれに期待する役割は何か？